

## 競技別要項【硬式野球競技】

### 1 硬式野球チーム編成と登録について

- (1) 小学生の部は小学3年生以上中学1年まで、中学生の部は中学1年から中学3年までとし、それぞれ各団2チーム以内の参加とする。1チームの登録団員は25名以内とする。
- (2) 指導者は3名の他、1名のスコアラーを認める。
- (3) スポーツ安全保険に加入していること。※選手・指導者・審判・保護者・役員

### 2 試合方法について

- (1) ブロック別に分け各チーム2試合ずつ行う。  
※ただし参加チーム数によって変更あり。
- (2) 試合は小学生の部、6イニングとする。中学生の部、7イニングとする。  
小学生の部は試合開始後80分を経過した場合は新イニングには入らない。  
中学生の部は試合開始後90分を経過した場合は新イニングには入らない。
- (3) ルールが同一のチーム同士が試合を行う。

### 3 大会規則

- (1) 長野県スポーツ少年団硬式野球交流大会試合規程および（公財）日本リトルリーグ野球協会・（一財）日本リトルシニア中学硬式野球協会の公認試合規定と県硬式野球実行委員会申し合わせ事項を併用する。
- (2) 小学生の部
  - ・3回終了後15点以上得点差のある場合はコールドゲームにする。
  - ・4回終了後10点以上得点差のある場合はコールドゲームにする。
  - ・最終イニングで同点の場合は、終了時の両チームの同じポジション同士でジャンケンを同時に行い、勝敗を決める。
  - ・投手は1試合6イニングまでとする。1試合に20球以上の投球をした投手は1試合投球したものとみなす。1試合投球した投手は自チームの次の1試合を対戦した以降の試合について投手として投球できる。※1試合空けること
  - ・投球制限は、小学5年以下は75球以内、小学6年と中学1年（11～12歳）は85球以内
- (3) 中学生の部
  - ・4回終了後10点以上得点差のある場合はコールドゲームにする。
  - ・5回終了後7点以上得点差のある場合はコールドゲームにする。
  - ・最終イニングで同点の場合はタイブレーク方式で勝敗を決める。
  - ・投球制限は、1日90球、2日130球以内とする。

### 4 その他

- (1) 参加チームは自試合に係わるアナウンス、グラウンド整備、スコア表示などを担当する。
- (2) 参加チームは審判員2名を出し、1名は主審のできる人であること。（中学生の部は3名）
- (3) 主催する市町村は当日当番医を各グラウンドに貼り知らせること。
- (4) 大会中の不慮の負傷、疾病に対し主催者は応急処置を行うが、その後の処置については一切責任を負わないこと。
- (5) 各チームの指導者は試合前に選手の健康状態を確認すること。
- (6) 指導者の責任において小学2年生以下でも参加できる。  
※各チームは試合開始予定時間の1時間前には、会場に到着していること。  
※表彰式は各会場の1位から3位のチームを表彰する。  
※参加チームはスポーツ少年団の団旗及びプラカードを持参する。ただし、プラカードのチーム名はスポーツ少年団交流大会であるため、〇〇リーグではなく、〇〇チームとする。  
※指導者、団員はスポーツ少年団配付のワッペンを左腕に貼り付けること。